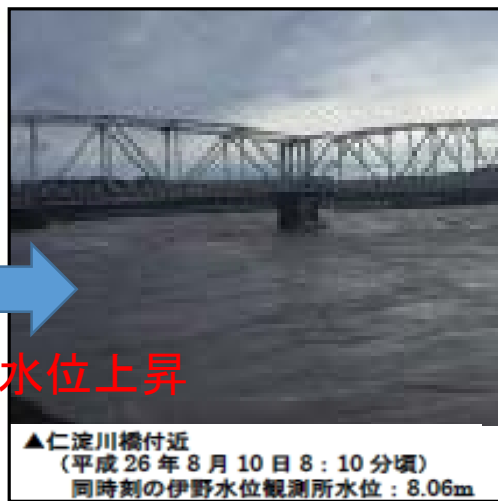
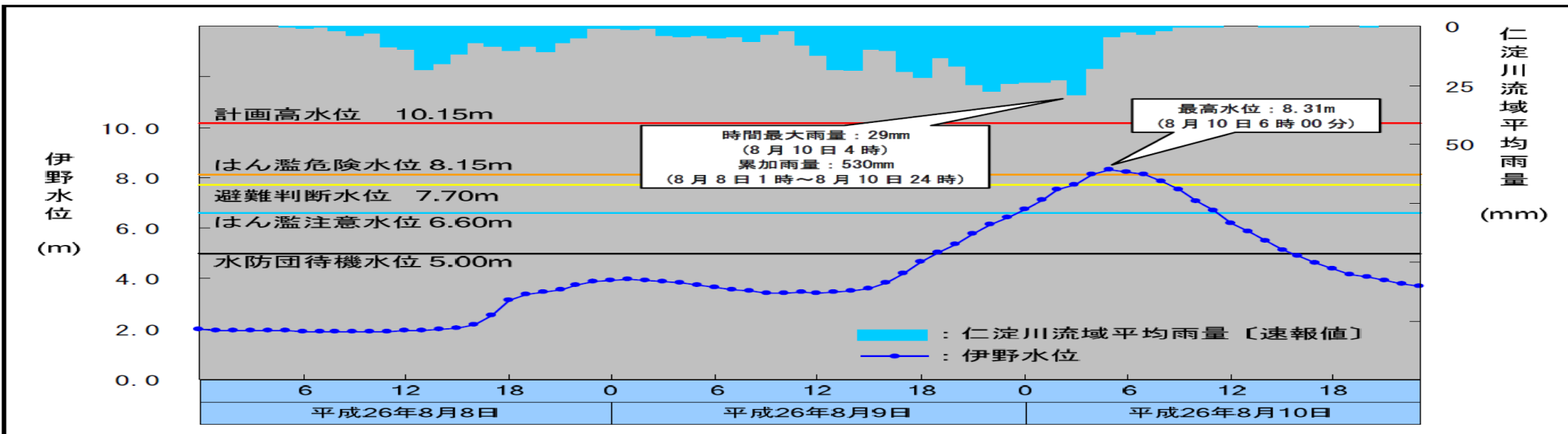


仁淀川流域治水協議会

説明資料

仁淀川水系における過去の出水(平成26年8月台風第11号)

- 仁淀川流域では、8月8日から8月10日までの流域平均雨量で530mmとなる激しい降雨により、吾川群いの町の伊野水観測所(基準地点)において、氾濫危険水位を超過。
- 仁淀川及び支川の沿川において、家屋の床上・床下浸水や田畑冠水の被害が発生。



約7mの水位上昇



流域治水プロジェクトについて

【背景】

- 令和元年東日本台風をはじめ、平成30年7月豪雨や平成29年九州北部豪雨等、近年激甚な水害が頻発しており、令和2年でも球磨川等で氾濫が発生。
- さらに、今後、気候変動による降雨量の増大や水害の激甚化・頻発化が予測。
- このような水災害リスクの増大に備えるために、河川・下水道等の管理者が主体となって行う対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、その河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」への転換を進めることが必要。

流域治水プロジェクトを示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速していくことが、国土交通省「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」において示される。



流域治水協議会

【目的】

- 流域全体で緊急的に実施すべき流域治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表し、流域治水を計画的に推進

仁淀川流域治水協議会

【協議会の目的】

近年、令和元年東日本台風をはじめとした激甚な水害が発生するなど、気候変動により、水害が激甚化・頻発化している。

このため、仁淀川流域において、あらゆる関係者が協働して「流域治水」（流域全体で水害を軽減させる治水対策）を計画的に推進するための協議・情報共有を行う。

【協議会の実施事項】

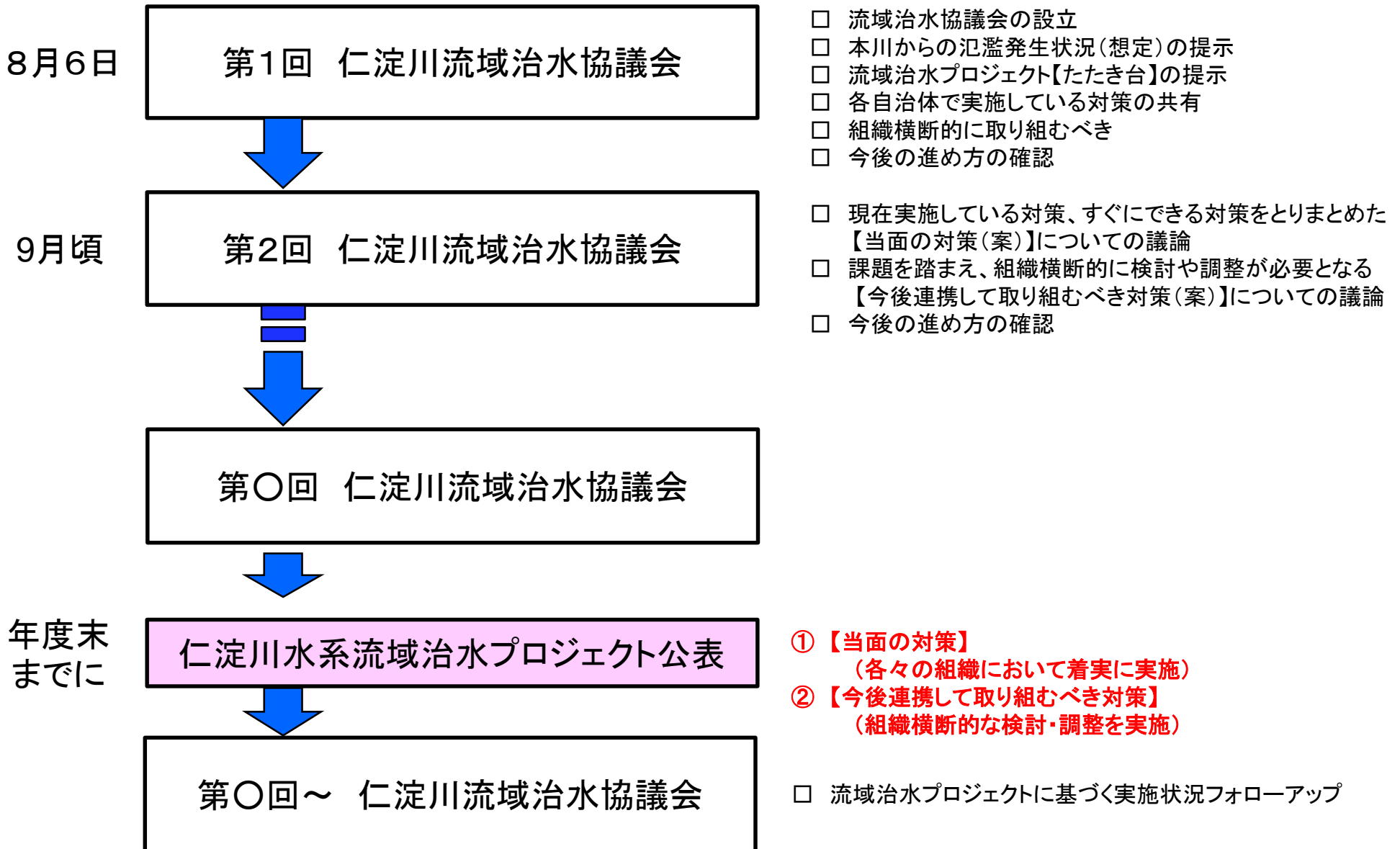
- 1 仁淀川流域で行う流域治水の全体像の共有・検討。
- 2 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む、「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
- 3 「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況のフォローアップ。
- 4 その他、流域治水に関して必要な事項。

仁淀川流域治水協議会の構成員(案)

機関	構成員	
	役職	氏名
高知市	市長	岡崎 誠也
土佐市	市長	板原 啓文
いの町	町長	池田 牧子
仁淀川町	町長	大石 弘秋
佐川町	町長	堀見 和道
越知町	町長	小田 保行
日高村	村長	戸梶 眞幸
高知県	危機管理部長	堀田 幸雄
	土木部長	村田 重雄
国土交通省	高知河川国道事務所長	多田 直人
国土交通省	大渡ダム管理所長	市原 道弘

※敬称略

協議会での検討事項と今後の進め方(案)



※今後の検討状況等により、変更となる場合があります。